

## 第29期第12回目録委員会記録

### 第12回委員会

日時：2004年4月24日（土）12時～15時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，白石，原井，平田，古川，増井，茂出木，松井，横山

<事務局>磯部

#### [ 配付資料 ]

1. 第13章継続資料 [ 案 ] ( 42ページ-A4, 原井委員 )
2. 第13章について残っている問題点 ( 1枚-A4, 原井委員 )
3. 0327案以降の修正一覧 ( 6ページ-A4, 原井委員 )
4. 付録 用語解説 [ 案 ] ( 1枚-A4, 原井委員 )
5. 第13章の最新案への意見 ( 2ページ, 茂出木委員 )
6. 第2章 ( 和古書・漢籍を含む ) ( 案 ) ( 29ページ-A4, 増井委員 )
7. 第3章 ( 改訂案 ) ( 12ページ-A4, 増井委員 )
8. NCR1987 2R 第3章および和古書、漢籍に関わる条項案 ( 10ページ-A4, 増井委員 )
9. 第29期第11回目録委員会記録 ( 4ページ-A4, 事務局 )

#### [ 連絡事項 ]

1. UBCの翻訳について
  - 目録委員会に対して、IFLAのホームページに掲載されているISBDの日本語訳について記述が的確でないので、善処して欲しい、との依頼があった。
  - 国会図書館が翻訳に関する調整窓口になっているようなので、それが同館のどこの部署なのかを確認して、働きかけの方法を検討することとした。
  - 目録委員会のWEBにも翻訳の情報を載せるようにすることとした。

#### [ 検討事項 ]

1. 第13章について  
原井委員より第13章の改訂案が提示され、以下のような意見が出された。
  - 13.0の第一段落は、「継続資料には、逐次刊行物と更新資料がある。逐次刊行物は、完結を予定せず、一般に巻次・年月次を追って刊行される資料である。更新資料は、更新により内容に追加、変更はあっても、常に一つの刊行物としてのまとまっている資料であり、」を「継続資料は、逐次刊行物と完結を予定しない更新資料である。逐次刊行物は、一般に巻次・年月次を追って刊行される資料である。更新資料は、更新により内容に追加、変更はあっても、一つの刊行物としてのまとまりが維持されている資料であり、」に修正する。

- 13.0.0の第2段落は0.9案を採用し、「および完結を予定する更新資料も対象とする。」を「および完結を予定する更新資料をも対象とする。」に修正する。
- 案の13.0.0の一部は「用語解説」と重複するが、従来にない用語が含まれているので、理解を助けるためこのままとする。
- 13.0.1の「とか」は口語的なので、「や」に修正する。他の部分についても、同様に修正する。
- 13.0.2.1B ウ)を「逐次刊行物の累積版が同一タイトルで刊行されるとき」に修正する。
- 13.0.3.0の初号の意味を明確にするために、「初号の情報が不明のときは、入手できた最初の号による。初号以外を記述の基盤とした場合は、基盤とした号の巻次を注記する。」を「初号（または変化後の最初の号）の情報が不明のときは、入手できた最初の号を記述の基盤とし、その号の巻次を注記する。」に修正する。
- 13.0.3.1Aおよび別法の参照から13.2.1.1の参照を削除し、13.0.3.1Aには13.8.0.3への参照を追加し、13.0.3.1A別法には13.8.0.3別法への参照を追加する。
- 13.0.6.4の「そのままの形を記録する。」を「そのままの形で記録する。」に修正する。
- 13.1.1.3Aの「除く。」を「この条項は適用しない。」に修正する。
- 13.8.2.2の「ISSNのあとに続けて「＝」で結んで記録する。」を「ISSNに続けてスペース等号、スペース（＝）で結んで記録する。」に修正する。13.3.2.3など他の等号関する部分についても同様に修正する。
- 用語解説の「発行年月日をもって代替する。」を「発行年月日で替える。」に修正する。
- 以上の修正をし、図書館雑誌発行前にWEBに第13章改訂案を掲載する。

## 2. 第2章，第3章について

増井委員より第2章，第3章の改訂案が提示され，以下のような意見が出された。

- 任意規定を表す「任意規定」の語は，和古書・漢籍に関する規定を示す「(古)」と同時に使われる場合，前に置くべきである。
- 2.7.4.9の「かぎかっこ」を「かぎかっこ(「」)」に修正する。
- 2.1.1.2D ウ)については，例や規定内容がはっきりしないので，再度確認をした方が良い。
- 2.1.1.2D イ)の「総合タイトルとする。」を「総合タイトルとすることができる。」に戻す。
- 第2章は和古書・漢籍に関する部分の追加扱いとし，第3章は全面改訂扱いとしてはどうか。
- 第3章の記述対象が個別資料であることを明示した方が良いのではないか。
- 第13章のWEBへの掲載後に，第2章，第3章についても掲載していくので，各委員が改訂案を持ち帰り，メーリングリストで意見交換をする。

## 3. その他

- 古川委員より、NCRをWEBに掲載してはどうかとの提案があり、現版を試行的にCD-ROM化するなど、今後のNCRのWEB化、CD-ROM化を出版との関係を考慮して検討していくこととした。

[ 次回以降の予定 ]

5月29日（土）

6月19日（土）

7月17日（土）